



令和8年度（一社）日本畜産物輸出促進協会 食肉加工品輸出協議会 活動報告

香港 Food Expo PRO 2026 に出展

香港で毎年開催されている大型国際食品見本市で

“日本産の食肉加工品”をPR

開催日 2026年8月13日(木)～15日(土) (10:00～18:00 (最終日のみ 17:00))

開催地 香港・湾仔区「Hong Kong Convention & Exhibition Centre」

一般社団法人日本畜産物輸出促進協会 食肉加工品輸出協議会(事務局:日本ハム・ソーセージ工業協同組合)は、2026年8月13日(水)～8月15日(土)の3日間、日本産食肉加工品の認知度向上及び輸出促進に向けたプロモーションのため、香港最大級の国際総合食品見本市である「Food Expo PRO 2026」に出展しました。

本協議会としては4回目の香港出展であり、13社の協力を得て、製品の展示・試食・アンケート、セミナー等のプロモーション活動を実施しました。セミナー・ブースとも大盛況で、更なる輸出促進に向け大いに期待できるものとなりました。また、展示会前夜の懇親商談会(8月12日(水)19時から)では、昨年と同様に現地のバイヤー等を招待するとともに、周辺国への声掛けも行い、新たにマカオのディストリビューター等を招き、輸出促進に向け新たな交流を持つことができました。

○参加企業(13社)※五十音順

- ・沖縄ハム総合食品(株)・(株)九食・JA全農インターナショナル(株)
- ・JA全農ミートフーズ(株)・信州ハム(株)・大和食品(株)
- ・(株)東北ハム・日本ハム(株)・林兼産業(株)・福留ハム(株)
- ・プリマハム(株)・丸トポトリ食品(株)・(株)ヤガイ

食肉加工品の展示・試食・アンケート



試食・アンケートの様子

また、出展各社のPR活動員と事務局のサポートにより、パンフレットや小冊子を配布し、日本産食肉加工品の魅力や特徴を伝えるとともに、ご協力いただいた13社の商品の試食提供を連日実施しました。

アンケートについては、約2,500名の方からご回答いただき、日本産食肉加工品に対する印象のアンケートでは、76%が「品質・安全」、56%が「おいしさ・味」、次いで32%が「ヘルシー」との回答が得られました。このことから、香港での日本産食肉加工品への高い信頼度が伺えました。



試食・アンケートの様子

今回、新たな試みとして、各社のブースにタブレットを1台ずつ設置し、各社の商品紹介の映像を流しました。これにより各々人目につき易くなり、集客に繋がりました。

なお、展示会の初日には 農林水産省輸出・国際局の山口潤一郎局長が、2 日目には 在香港日本国総領事館の三浦潤総領事が、それぞれ当ブースに来訪され、激励をしていただきました。



展示商品 (13 社)



山口輸出・国際局長と出展者



在香港日本国総領事館 三浦総領事と出展者

日本産食肉加工品のセミナーを実施

1日目と2日目の 2 日間、JETRO(日本貿易振興機構)ブースにてセミナーを実施、日本の食肉加工品のプレゼンテーションを行いました。

お弁当やラーメン等の、海外にも浸透しつつある日本の食文化と食肉加工品との関係から、HACCP の取り組みまで、日本産の食肉加工品の安心と安全を中心に PR しました。

セミナー参加者には試食(1 日目は 6 商品、2 日目は 7 商品)を配布し、大好評でした。



セミナーの様子

展示会前夜に懇親商談会を実施

展示会の前日の 12 日(水) 19 時から「Regal Kowloon Hotel」にて、懇親商談会を開催しました。昨年と同様に、食品流通に詳しい現地の協力会社によって厳選された現地のバイヤー等を招待するとともに、今年は声掛けの対象を香港だけでなく周辺国へも拡大しました。その結果、マカオから新たなディストリビューター等を招くことができ、23 社 42 名のディストリビューター、バイヤー等が参加されました。参加者は会場を自由に回り、各社の商品を試食しながら、終始リラックスした雰囲気の中で活発な商談、情報交換が行われました。



懇親商談会
の様子



セミナーの様子



試食セットの一例

